

今年度の研究成果の発表 午後の部

13:00~18:00

司 会：三宅吉博

13:00~13:45

## I. 症例対照研究 (つづき)

### 6. 特発性大腿骨頭壊死症の発生関連要因に関する多施設共同・症例対照研究 (研究計画)

福島若葉、阪口元伸、廣田良夫 (大阪市立大学大学院医学研究科・公衆衛生学)

山本卓明、岩本幸英 (九州大学大学院医学研究院・整形外科学分野)

中村博亮 (大阪市立大学大学院医学研究科・整形外科学)

### 7. 潰瘍性大腸炎のリスク因子に関する多施設共同・症例対照研究 (進捗状況)

大藤さところ、福島若葉、廣田良夫 (大阪市立大学大学院医学研究科・公衆衛生学)

押谷伸英、渡辺憲治 (大阪市立大学大学院医学研究科・消化器器官制御内科学)

長堀正和、渡辺 守 (東京医科歯科大学・消化器病態学)

The Japanese Case-Control Study Group for Ulcerative Colitis

### 8. 食事のグリセミック・インデックスとパーキンソン病リスクとの関連

村上健太郎 (東京大学大学院医学系研究科社会予防疫学)

三宅吉博、田中景子 (福岡大学医学部・公衆衛生学)

福島若葉、廣田良夫 (大阪市立大学大学院医学研究科・公衆衛生学)

佐々木 敏 (東京大学大学院医学系研究科社会予防疫学)

清原千香子 (九州大学大学院医学研究院・予防医学)

坪井義夫、山田達夫 (福岡大学医学部・内科学第五)

三木隆己 (大阪市立大学大学院医学研究科・老年内科学)

福山秀直 (京都大学大学院医学研究科附属高次脳機能総合研究センター)

吉良潤一、栄 信孝 (九州大学大学院医学研究院・神経内科)

谷脇考恭 (久留米大学医学部内科学講座)

紀平為子 (和歌山県立医科大学神経内科)

大江田知子 (国立病院機構宇多野病院神経内科)

藤井直樹 (国立病院機構大牟田病院神経内科)

藤村晴俊 (国立病院機構刀根山病院神経内科)

杉山 博 (国立病院機構南京都病院神経内科)

斎田恭子 (京都市立病院神経内科)

永井正規 (埼玉医科大学医学部・公衆衛生学)

司 会：川村 孝

13:45~14:30

## II. 患者フォローアップ調査

### 9. 特発性心筋症追跡調査－全国疫学調査10年後予後調査－の進捗状況

中川秀昭、森河裕子、中村幸志、櫻井 勝（金沢医科大学・健康増進予防医学）  
松森 昭（京都大学大学院医学研究科・循環病態学）

1 0. パーキンソン病患者の抑うつ症状と摂食・嚥下障害との関連研究の中間報告

韓 萌、大西浩文、森 満（札幌医科大学医学部・公衆衛生学）  
野中道夫（札幌山の上病院神経内科）  
山内理香、保月隆良、林 貴土、久原 真、今井富裕、下濱 俊  
（札幌医科大学医学部・神経内科学講座）

1 1. 特定疾患患者の地域ベース・コホート研究－今年度の計画－

丹野高三、坂田清美（岩手医科大学医学部・衛生学公衆衛生学講座）  
松田智大（国立がんセンター統計部・地域がん登録室）  
新城正紀（沖縄県立看護大学・公衆衛生学・疫学）  
三徳和子（川崎医療福祉大学・医療福祉学部）  
眞崎直子（日本赤十字広島看護大学・地域看護学領域）  
平良セツ子（沖縄県宮古保健福祉事務所）

司 会：土井由利子

14:30～15:15

III. 行政資料による特定疾患の頻度調査

1 2. 行政資料を用いた難病の頻度調査－死亡統計を用いた検討－

土井由利子（国立保健医療科学院・研修企画部）  
横山徹爾（国立保健医療科学院・人材育成部）

1 3. 患者調査による難病の受療状況

横山徹爾（国立保健医療科学院・人材育成部）  
土井由利子（国立保健医療科学院・研修企画部）

IV. 世界の難病死亡

1 4. WHOの収集した死亡統計に基づく世界の難病の記述；「世界の難病の死亡統計；  
1994-2006年」（仮称）の刊行および難病死亡率と医療普及度との関係の検討

簗輪眞澄（聖徳大学人文学部・人間栄養学科）  
永井正規（埼玉医科大学医学部・公衆衛生学）

研究分担者会議

15:30～18:00

かわごえクリニック 6階小会議室

## 第2日目 6月25日(木)

今年度の研究成果の発表 午前の部

9:30~13:30

司会：中村好一

9:30~10:00

### V. 定点モニタリングによる臨床像の把握

15. 定点モニタリングシステムによる特発性大腿骨頭壊死症の臨床像  
—手術症例についての10年間のまとめ—

福島若葉、廣田良夫（大阪市立大学大学院医学研究科・公衆衛生学）

山本卓明、岩本幸英（九州大学大学院医学研究院・整形外科学分野）

中村博亮（大阪市立大学大学院医学研究科・整形外科学）

### VI. 全国疫学調査

16. アレルギー性肉芽腫性血管炎、甲状腺クリーゼ—全国疫学調査進捗状況

上原里程、中村好一（自治医科大学・公衆衛生学）

天野宏一（埼玉医科大学総合医療センター・リウマチ・膠原病内科）

佐田憲映、槇野博史（岡山大学大学院・医歯薬総合研究科）

赤水尚史（京都大学医学部附属病院・探索医療センター）

松本俊夫（徳島大学大学院・ヘルスバイオサイエンス研究部）

永井正規（埼玉医科大学医学部・公衆衛生学）

司会：森 満

10:00~12:00

### VII. 臨床調査個人票データベースを利用した記述疫学

17. 臨床調査個人票の系統的解析（研究計画）

太田晶子、仁科基子、高橋美保子、永井正規（埼玉医科大学医学部・公衆衛生学）

18. 特定疾患の認定審査方法と不承認や軽快となる割合についての解析

井戸正利（大阪府立健康科学センター）

太田晶子、仁科基子、永井正規（埼玉医科大学医学部・公衆衛生学）

19. パーキンソン病医療受給者への脳血管疾患等の混入の可能性について（第1報）

井戸正利（大阪府立健康科学センター）

太田晶子、仁科基子、永井正規（埼玉医科大学医学部・公衆衛生学）

近藤智善（和歌山県立医科大学・神経内科学）

中野今治（自治医科大学・神経内科学）

20. 臨床調査個人票からみた自己抗体と原発性胆汁性肝硬変（PBC）の病態  
坂内文男、野島正寛、森 満（札幌医科大学医学部・公衆衛生学）

21. ベーチェット病の症状出現パターン—臨床調査個人票データを用いて—  
黒沢美智子（順天堂大学医学部・衛生学）  
稲葉 裕（実践女子大学・生活科学部）  
石ヶ坪良明（横浜市立大学・病態免疫制御内科）  
永井正規（埼玉医科大学医学部・公衆衛生学）

22. 臨床調査個人票を用いたライソゾーム病受給者の疫学像の解析  
坪井一哉（名古屋セントラル病院・血液内科）  
鈴木貞夫（名古屋市立大学大学院医学研究科・公衆衛生学分野）  
永井正規（埼玉医科大学医学部・公衆衛生学）

23. Budd-Chiari 症候群患者の臨床疫学特性  
大藤さところ、村井陽子、福島若葉、廣田良夫  
（大阪市立大学大学院医学研究科・公衆衛生学）

**昼 食（事務連絡）**

**12:00～13:00**

**研究代表者のまとめ**

**13:00～13:30**

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業  
特定疾患の疫学に関する研究班  
平成21年度第2回総会プログラム

日 時： 平成21年12月2日（水） 10：30 ～ 18：00  
3日（木） 9：30 ～ 13：30

場 所： 埼玉医科大学かわごえクリニック 6階  
大会議室

研究代表者 永井 正規

特定疾患の疫学に関する研究班

事務局：〒350-0495

埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38  
埼玉医科大学医学部公衆衛生学教室  
TEL：049-276-1171（直通）  
FAX：049-295-9307（直通）

## 第 1 日 目 1 2 月 2 日 (水)

研究代表者挨拶 10:30～10:40

厚生労働省挨拶 10:40～10:50

今年度の研究成果の発表 午前の部 10:50～12:00

司 会：杉田 稔 10:50～12:00

### 1. 臨床調査個人票データベースを利用した記述疫学

#### 1. 臨床調査個人票の入力状況 (2009年5月現在)

太田晶子、仁科基子、永井正規 (埼玉医科大学医学部・公衆衛生学)

#### 2. 臨床調査個人票の系統的解析－共通項目－

太田晶子、仁科基子、永井正規 (埼玉医科大学医学部・公衆衛生学)

#### 3. 特定疾患医療受給者の受給中止理由調査

木下直子、高石和子、大槻春美、宮田淳子、濱田芳枝 (京都府山城北保健所)  
太田晶子、永井正規 (埼玉医科大学医学部・公衆衛生学)

#### 4. パーキンソン病医療受給者への脳血管疾患等の混入の可能性について(第2報)

井戸正利 (大阪府立健康科学センター)  
太田晶子、仁科基子、永井正規 (埼玉医科大学医学部・公衆衛生学)  
近藤智善 (和歌山県立医科大学・神経内科学)  
中野今治 (自治医科大学・神経内科学)

#### 5. 臨床調査個人票からみた自己抗体と原発性胆汁性肝硬変 (PBC) の病態

坂内文男、野島正寛、森 満 (札幌医科大学医学部・公衆衛生学)

昼 食 (事務連絡) 12:00～13:00

今年度の研究成果の発表 午後の部

13:00～18:00

司 会：森 満

13:00～14:00

## Ⅰ. 臨床調査個人票データベースを利用した記述疫学（つづき）

### 6. 劇症肝炎の臨床調査個人票における項目別記載・入力状況の検討

野島正寛、森 満、坂内文男、大西浩文（札幌医科大学医学部・公衆衛生学）  
永井正規（埼玉医科大学医学部・公衆衛生学）  
坪内博仁（鹿児島大学医学部・消化器内科）

### 7. ベーチェット病の臨床疫学像－臨床調査個人票と全国疫学調査結果の比較

黒沢美智子（順天堂大学医学部・衛生学）  
稲葉 裕（実践女子大学・生活科学部）  
玉腰暁子（愛知医科大学・公衆衛生学）  
川村 孝（京都大学・保健管理センター）  
永井正規（埼玉医科大学医学部・公衆衛生学）

### 8. 再生不良性貧血の臨床調査個人票の改訂

杉田 稔（東邦大学医学部・社会医学講座衛生学）  
島田直樹（昭和大学医学部・公衆衛生学）  
中尾眞二（金沢大学大学院医学系研究科・細胞移植学）  
小澤敬也（自治医科大学・内科学講座血液学部門）  
永井正規（埼玉医科大学医学部・公衆衛生学）

### 9. 臨床調査個人票を用いたライソゾーム病受給者の疫学像の解析

坪井一哉（名古屋セントラル病院・血液内科）  
鈴木貞夫（名古屋市立大学大学院医学研究科・公衆衛生学分野）  
永井正規（埼玉医科大学医学部・公衆衛生学）

司 会：川村 孝

14:00～14:45

## Ⅱ. 患者フォローアップ調査

### 10. 特発性心筋症追跡調査－全国疫学調査10年後予後調査－の進捗状況

中川秀昭、森河裕子、中村幸志、櫻井 勝（金沢医科大学・健康増進予防医学）  
松森 昭（京都大学大学院医学研究科・循環病態学）

### 11. パーキンソン病患者の抑うつ症状と摂食・嚥下障害に関する前向き追跡研究の中間報告

大西浩文、韓 萌、森 満（札幌医科大学医学部・公衆衛生学）

野中道夫（札幌山の上病院神経内科）

山内理香、保月隆良、林 貴士、久原 真、今井富裕、下濱 俊  
（札幌医科大学医学部・神経内科学講座）

#### 1 2. 特定疾患患者の地域ベース・コホート研究（進捗状況）

丹野高三、坂田清美（岩手医科大学医学部・衛生学公衆衛生学講座）

松田智大（国立がんセンター統計部・地域がん登録室）

新城正紀（沖縄県立看護大学・公衆衛生学・疫学）

三徳和子（川崎医療福祉大学・医療福祉学部）

眞崎直子（日本赤十字広島看護大学・地域看護学領域）

平良セツ子（沖縄県宮古保健福祉事務所）

・・・ 休憩 15分 ・・・

司 会：土井由利子

15:00～16:15

### Ⅲ. 行政資料による特定疾患の頻度調査

#### 1 3. 行政資料を用いた難病の頻度調査－死亡統計を用いた検討－

土井由利子（国立保健医療科学院・研修企画部）

横山徹爾（国立保健医療科学院・人材育成部）

#### 1 4. 患者調査による難病の受療状況

横山徹爾（国立保健医療科学院・人材育成部）

土井由利子（国立保健医療科学院・研修企画部）

### Ⅳ. 世界の難病死亡

#### 1 5. 「世界の難病死亡統計；1994-2006年」の刊行

箕輪眞澄（聖徳大学人文学部・人間栄養学科）

永井正規（埼玉医科大学医学部・公衆衛生学）

#### 1 6. 難病死亡率と医療普及度との関係の検討

箕輪眞澄（聖徳大学人文学部・人間栄養学科）

永井正規（埼玉医科大学医学部・公衆衛生学）

## V. 症例対照研究

### 17. 遺伝子多型とパーキンソン病リスクとの関連

清原千香子（九州大学大学院医学研究院・予防医学）  
三宅吉博、田中景子（福岡大学医学部・公衆衛生学）  
藤本崇宏、小柳緑、白澤専二（福岡大学医学部・細胞生物学）  
福島若葉、廣田良夫（大阪市立大学大学院医学研究科・公衆衛生学）  
佐々木 敏（東京大学大学院医学系研究科・社会予防疫学）  
坪井義夫、山田達夫（福岡大学医学部・内科学第五）  
三木隆己（大阪市立大学大学院医学研究科・老年内科学）  
福山秀直（京都大学大学院医学研究科附属高次脳機能総合研究センター）  
吉良潤一、栄 信孝（九州大学大学院医学研究院・神経内科）  
谷脇考恭（久留米大学医学部内科学講座）  
紀平為子（和歌山県立医科大学神経内科）  
大江田知子（国立病院機構宇多野病院神経内科）  
藤井直樹（国立病院機構大牟田病院神経内科）  
藤村晴俊（国立病院機構刀根山病院神経内科）  
杉山 博（国立病院機構南京都病院神経内科）  
斎田恭子（京都市立病院神経内科）  
永井正規（埼玉医科大学医学部・公衆衛生学）

研究分担者会議

16:20～18:00

かわごえクリニック 6階小会議室

## 第2日目 12月3日(木)

今年度の研究成果の発表 午前部

9:30~13:30

司会：廣田良夫

9:30~11:00

### V. 症例対照研究 (つづき)

#### 18. 筋萎縮性側索硬化症発症関連要因解明に関する症例対照研究

岡本和士 (愛知県立大学看護学部・公衆衛生学)  
紀平為子 (関西医療大学・保健医療学部)  
小久保康昌 (三重大学医学部・神経内科)  
近藤智善 (和歌山県立医科大学・神経内科)  
阪本尚正 (兵庫医科大学・衛生学)  
小橋元 (放射線医学総合研究所)  
鷺尾昌一 (聖マリア学院大学)  
三宅吉博 (福岡大学医学部・公衆衛生学)  
横山徹爾 (国立保健医療科学院・人材育成部)  
佐々木敏 (東京大学大学院医学系研究科社会予防疫学)  
稲葉裕 (実践女子大学・生活科学部)  
永井正規 (埼玉医科大学医学部・公衆衛生学)

#### 19. 全身性エリテマトーデスの症例対照研究

鷺尾昌一 (聖マリア学院大学)  
清原千香子、堀内孝彦、塚本浩、原田実根、赤司浩一 (九州大学大学院)  
浅見豊子、佛淵孝夫、多田芳史、長澤浩平 (佐賀大学)  
児玉寛子、井手三郎 (聖マリア学院大学)  
小橋元、太田薫里 (放射線医学総合研究所)  
岡本和士 (愛知県立大学看護学部・公衆衛生学)  
阪本尚正 (兵庫医科大学・衛生学)  
佐々木敏 (東京大学大学院医学系研究科社会予防疫学)  
三宅吉博 (福岡大学医学部・公衆衛生学)  
横山徹爾 (国立保健医療科学院・人材育成部)  
大浦麻絵、鈴木拓、森満、高橋裕樹、山本元久、篠原恭久 (札幌医科大学)  
阿部敬 (市立釧路総合病院)  
田中寿人 (田中病院)  
野上憲彦 (若楠療育園)  
渥美達也、堀田哲也、保田晋助、片岡浩、小池隆夫 (北海道大学大学院)  
近江雅代、城田智子、内田和宏、友納恵美子 (中村学園大学)  
深澤圭子 (名寄市立大学)  
廣田良夫 (大阪市立大学大学院医学研究科・公衆衛生学)  
稲葉裕 (実践女子大学・生活科学部)  
永井正規 (埼玉医科大学医学部・公衆衛生学)

## 20. 混合性結合組織病の症例対照研究

鷺尾昌一（聖マリア学院大学）  
廣田良夫（大阪市立大学大学院医学研究科・公衆衛生学）  
永井正規（埼玉医科大学医学部・公衆衛生学）  
三森経世（京都大学大学院）

## 21. 後縦靭帯骨化症の発症関連要因・予防要因の解明； 生活習慣と遺伝子多型に関する症例・対照研究

小橋 元（放射線医学総合研究所）  
岡本和士（愛知県立看護大学・公衆衛生学）  
鷺尾昌一（聖マリア学院大学）  
阪本尚正（兵庫医科大学・衛生学）  
佐々木 敏（東京大学大学院医学系研究科社会予防疫学）  
三宅吉博（福岡大学医学部・公衆衛生学）  
横山徹爾（国立保健医療科学院・人材育成部）  
日本後縦靭帯骨化症（OPLL）疫学研究グループ

## 22. 小児炎症性腸疾患の発症関連要因・予防要因の解明； 母児の生活習慣と遺伝子多型に関する症例・対照研究

小橋 元、太田薫里（放射線医学総合研究所）  
岡本和士、吹田麻耶（愛知県立看護大学・公衆衛生学）  
鷺尾昌一（聖マリア学院大学）  
杉森裕樹（大東文化大学）  
片平洸彦（東洋大学）  
白石弘美（人間総合科学大学）  
若井建志、前川厚子、青山京子、竹井留美（名古屋大学）  
伊藤美智子（全国社会保険協会連合会）  
内山 幹（慈恵医大柏病院）  
羽田 明（千葉大学）  
窪田 満（手稲溪仁会病院）  
日本小児 IBD 疫学研究グループ（仮称）

## 23. 潰瘍性大腸炎のリスク因子に関する多施設共同・症例対照研究（進捗状況）

大藤さところ、福島若葉、廣田良夫（大阪市立大学大学院医学研究科・公衆衛生学）  
押谷伸英、渡辺憲治（大阪市立大学大学院医学研究科・消化器器官制御内科）  
長堀正和、渡辺 守（東京医科歯科大学・消化器病態学）  
The Japanese Case-Control Study Group for Ulcerative Colitis

## VI. 全国疫学調査

### 24. アレルギー性肉芽腫性血管炎、甲状腺クリーゼおよび家族性地中海熱 －全国疫学調査進捗状況－

上原里程、中村好一（自治医科大学・公衆衛生学）  
天野宏一（埼玉医科大学総合医療センター・リウマチ・膠原病内科）  
佐田憲映、槇野博史（岡山大学大学院・医歯薬総合研究科）  
赤水尚史（京都大学医学部附属病院・探索医療センター）  
松本俊夫（徳島大学大学院・ヘルスバイオサイエンス研究部）  
右田清志（国立病院機構長崎医療センター・臨床研究センター）  
永井正規（埼玉医科大学医学部・公衆衛生学）

### 25. 難病対象疾患拡大方針に基づき拡大された対象疾患の患者実態調査実施要望 に対する全国疫学調査事務局の対応

上原里程、中村好一（自治医科大学・公衆衛生学）  
永井正規（埼玉医科大学医学部・公衆衛生学）

## VII. その他

### 26. 神経難病患者・家族における補完代替医療の現状に関する研究

紀平為子（関西医療大学・保健医療学部神経内科）  
岡本和士（愛知県立大学・看護学部公衆衛生学）  
吉田宗平、若山育朗、吉備 登（関西医療大学・保健医療学部）  
永井正規（埼玉医科大学医学部・公衆衛生学）

### 27. 結節性硬化症（TSC）医療費補助決定要因に関する研究

縣 俊彦、柳澤裕之（東京慈恵会医科大学・環境保健医学講座）  
西川浩昭（日本赤十字豊田看護大学）  
稲葉 裕、黒沢美智子（順天堂大学医学部・衛生学）  
金城芳秀（沖縄県立看護大学大学院）  
柳 修平（東京女子医大大学院）  
河 正子（東京大学大学院・ターミナルケア学）  
佐伯圭一郎（大分看護情報大学大学院・保健情報）  
島田三恵子（大阪大学大学院・医学系研究科）  
太田晶子、永井正規（埼玉医科大学医学部・公衆衛生学）  
中山樹一郎（福岡大学・皮膚科）  
新村真人（東京慈恵会医科大学・皮膚科）  
大塚藤男（筑波大学・皮膚科）  
上原里程、渡辺 至、中村好一（自治医科大学・公衆衛生学）

昼食（事務連絡）

12:00～13:00

研究代表者のまとめ

13:00～13:30

（会場は午後も使用可能です。研究打ち合わせ等にご利用下さい。）

---

## VI. 添 付 資 料

---

## 添付資料一覧

### <パーキンソン病の審査を担当する医師に対する意見調査>

添付資料Ⅰ	パーキンソン病の審査を担当する医師に対する意見調査票様式	
様式Ⅰ－１	「パーキンソン病の審査を担当する医師に対する意見調査」へのご協力をお願い（都道府県特定疾患対策担当者様宛）	・・・ 305
様式Ⅰ－２	「パーキンソン病の審査を担当する医師に対する意見調査」へのご協力をお願い（パーキンソン病に関する審査担当医様宛）	・・・ 308
様式Ⅰ－３	「パーキンソン病の審査を担当する医師に対する意見調査」調査票	・・・・・・・・ 310

### <特発性心筋症 10 年後予後調査>

添付資料Ⅱ	特発性心筋症 10 年後予後調査票様式	
様式Ⅱ－１	特発性心筋症予後調査のお願い	・・・ 314
様式Ⅱ－２	特発性心筋症予後調査 研究計画の概要	・・・ 316
様式Ⅱ－３	特発性心筋症予後調査個人票 ＜記入要項＞ 【調査票Ⅰ】【調査票Ⅱ】	・・・ 318
様式Ⅱ－４	特発性心筋症予後調査住民票(除票)の写しの交付について（申請）	・・・ 320

### <全身性エリテマトーデス予防のための生活習慣調査>

添付資料Ⅲ	全身性エリテマトーデス予防のための生活習慣調査票様式	
様式Ⅲ－１	全身性エリテマトーデス予防のための生活習慣調査票	・・・ 325

## 都道府県特定疾患対策担当者様

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業  
特定疾患の疫学に関する研究班

研究代表者 永井正規(埼玉医科大学公衆衛生学)

研究協力者 井戸正利(大阪府立健康科学センター)

## 「パーキンソン病の審査を担当する医師に対する意見調査」へのご協力をお願い

日頃より我が国の難病対策にご尽力いただき誠にありがとうございます。昨年度より厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 特定疾患の疫学に関する研究班(研究代表者永井正規)では、申請・審査や電子入力システムをさらに有用なものとするために調査研究を行っております。

本年度は、昨年度に御協力いただきました調査内容をさらに分析し、結果をまとめ報告を予定しています。この度追加調査として、現行システムにおいてパーキンソン病医療受給者に脳血管疾患等がどの程度混入しているかを把握することを目的として、標記調査を全都道府県を対象として実施することといたしました。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

調査の手順は次のとおりです。

1. 貴都道府県のパーキンソン病の審査を担当される医師すべてに、同封しました①当方から審査担当医師に宛てた、調査協力をお願いする文書、②「パーキンソン病の審査を担当する医師に対する意見調査」調査票、③2008年度実施 都道府県対象の「特定疾患医療受給申請および臨床調査個人票電子入力状況の実態等に関する調査」結果、④返信用封筒、を配布ください。併せて貴担当様から、調査協力のお口添えを頂ければ幸いです。複数の医師が審査を担当されている場合は全員にお渡しください。医学的な審査に参加していれば保健所や本庁の医師も対象としてください。審査担当医師宛の①から④の文書類をクリアファイルにまとめて3セット同封しております。不足の場合はファクシミリ送付状(下記)でお知らせください。
2. 同封しましたファクシミリ送付状に、上記調査票を配布いただく審査担当医師数などを記入し、当方宛ファクシミリをお送りください。
3. 審査担当医師からのご回答は、当方宛に郵送していただくようお願いしております。締め切りまでに回答を頂けなかった場合、当方から貴担当様にその旨お知らせしますので、貴担当様から担当医師に宛てて、再度ご回答を依頼してください(審査担当医師の氏名等を当方で把握しないで調査を進めるため、この様なお願いをすることになります)。

本調査の結果がまとまりましたら、研究会議や学会などで報告し、御担当様に要旨を報告させていただくことを予定しております。

本調査に関してご不明な点がございましたら裏面に記載した連絡先にご連絡ください。

御回答につきましては、審査担当医師から同封の封筒にて**2009年11月30日**までに直接研究班にご返送いただきたいと思いますと考えています。その際、都道府県名についても回答していただきますが、督促と統計解析にのみ使用し、公表する際は都道府県名がわからないようにいたします。なお各都道府県の保健所または本庁から、審査担当医師が回答した内容について照会されてもお答えすることはいたしません。

同封いたしました粗品は、貴担当者様の事務にご使用頂ければ幸いです。

裏面へ続く

同封：

- ①審査担当医師宛、調査協力依頼文書 (3部)
- ②「パーキンソン病の審査を担当する医師に対する意見調査」調査票 (3部)
- ③2008年度実施 都道府県対象の「特定疾患医療受給申請および臨床調査個人票電子入力状況の実態等に関する調査」結果 (4部、1部は都道府県担当者様にご利用ください)
- ④返信用封筒 (3部)
- ⑤「調査票配布数回答書」返信用ファクシミリ送付状 (1部)
- ⑥粗品

\*本調査は、厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 特定疾患の疫学に関する研究班(研究代表者 永井正規)が実施するものです。

\*このお願いの送付先は、厚生労働省健康局疾病対策課編「H20 難病対策提要」に記載の都道府県特定疾患対策担当窓口一覧(平成20年4月1日現在)をもとにしております。

連絡および調査票返送先：

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業

特定疾患の疫学に関する研究班

事務局 太田晶子(おおたあきこ)、仁科基子(にしなもとこ)

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

埼玉医科大学医学部公衆衛生学

TEL: 049-276-1171 FAX: 049-295-9307

e-mail: aohta@saitama-med.ac.jp

## ファクシミリ送付状

送付先：ファクシミリ番号 049-295-9307  
厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業  
特定疾患の疫学に関する研究班  
事務局 太田晶子

### 送信者

都道府県：

担当部課：

担当者氏名：

電話番号：

ファクシミリ番号：

「パーキンソン病の審査を担当する医師に対する意見調査」  
調査票配布数回答書

下記項目をご記入いただき、ファクシミリでご返送下さい。

1. 調査票を配布するパーキンソン病の審査担当医師数：\_\_\_\_\_人
2. 調査票等不足分：1 なし  
2 あり（追ってお送りしますので数をお知らせ下さい）

### 連絡先：

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業  
特定疾患の疫学に関する研究班  
事務局 太田晶子（おたあきこ）、仁科基子（にしなもとこ）  
〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38  
埼玉医科大学医学部公衆衛生学  
TEL: 049-276-1171 FAX: 049-295-9307  
e-mail : aohta@saitama-med.ac.jp

## 都道府県特定疾患治療研究事業

## パーキンソン病に関する審査担当医 様

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業  
特定疾患の疫学に関する研究班  
研究代表者 永井正規(埼玉医科大学公衆衛生学)  
研究協力者 井戸正利(大阪府立健康科学センター)

## 「パーキンソン病の審査を担当する医師に対する意見調査」へのご協力のお願い

日頃より我が国の難病対策にご尽力いただき誠にありがとうございます。昨年度より厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 特定疾患の疫学に関する研究班(研究代表者永井正規)では、申請・審査や電子入力システムをさらに有用なものとするために調査研究を行っております。添付致しました資料でご覧頂けますように、これまで都道府県の担当者に対する質問票調査を行い、認定審査の結果不承認となる率に受給者数以上の大きな都道府県格差があること等を報告しております。

本年度は、追加調査として、現行システムにおいてパーキンソン病医療受給者に脳血管疾患等がどの程度混入しているかを把握することを目的として、標記調査を全都道府県を対象として実施することといたしました。御多忙のところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、調査に御協力賜りますよう心よりお願い申し上げます。

本調査は当方から都道府県特定疾患対策担当者を通じて、当該都道府県のパーキンソン病の審査担当医師に、調査票へのご回答をお願いするものです。

1. 都道府県担当者から本状とともに届けられた調査票に回答し、
2. 同封の返信用封筒を使って **2009年11月30日**までに当方宛ご返送ください。

都道府県名について回答して頂きますが、各県から回答を頂いたことの確認と統計解析にのみ使用し、公表する際は都道府県名がわからないようにいたします。各都道府県の保健所または本庁から審査担当医師が回答した内容について照会されてもお答えすることはありません。

本調査の結果がまとまりましたら、研究会議や学会などで報告し、都道府県の御担当様を通じて要旨を報告させていただくことを予定しております。

本調査に関してご不明な点がございましたら裏面の問い合わせ先にご連絡ください。

同封：

1. 「パーキンソン病の審査を担当する医師に対する意見調査」調査票
2. 2008年度実施 都道府県対象の「特定疾患医療受給申請および臨床調査個人票電子入力状況の実態等に関する調査」結果
3. 返信用封筒

\* 本調査は、厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 特定疾患の疫学に関する研究班(研究代表者 永井正規)が実施するものです。

裏面へ続く

調査票についての問い合わせ先：

大阪府立健康科学センター

健康生活推進部

参事兼医長 井戸正利（いどまさとし）

TEL: 06-6973-3535

FAX: 06-6973-3574

調査票返送先：

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

埼玉医科大学医学部公衆衛生学

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業

特定疾患の疫学に関する研究班

事務局 太田晶子（おおたあきこ）

TEL: 049-276-1171

FAX: 049-295-9307